

患者様、ご家族様、地域の方などへ

当院の取り組みのご紹介について（介護教室関連記事）

新型コロナ感染による影響の為、毎年実施していた介護教室も現在お休みしています。この度介護の普及活動の一環として紙面版介護教室を開催する事としたのでご覧下さい。

1. 抱え上げない介護(ノーリフティングケア)について

現在佐賀県でも導入推進されている『抱え上げない介護』を当院でも4～5年程前から少しずつ取り組みを進めています。移乗などの身体介護の際に、介護する人介護される人双方において安全で安心な、**抱え上げない・持ち上げない・引きずらない介護**の事を、抱え上げない介護と呼んで現場での改善に役立てています。又抱え上げない介護と同じような意味で用いられる用語に、**ノーリフティングケア**があります。医療・看護・介護の現場で頻繁に出てくる患者さんの介助時の身体にかかる負担を軽減させ、患者さんや介助者双方にとって安全・安心なケアの実現を目指すものです。力づくの介護は介護者にとって重労働であり、患者さんも体が痛いだけでなく、関節拘縮・褥瘡等二次障害の発生につながる恐れが高くなります。それらの問題を改善させる為に、ケアの方法や体の動かし方の工夫・様々な福祉用具の利用などチームで協力しながら取り組みを進めていく必要があります。



現場でノーリフティングケアに取り組んでいる様子

2. 2025年問題とは

団塊の世代が75歳以上になり人口の約20%が後期高齢者になり、少子高齢の問題などそれに関連して引き起こされる問題の事です。医療・看護・介護の現場でも人手不足や抱え上げによる腰痛、介護者の高齢化等の影響が出てきています。今後も継続して患者さんの療養生活を支える為に、現場での取り組み・改善は、始めてもすぐには効果は期待できず継続が必要不可欠です。

3. 当院の取り組みについて

看護・介護・医療専門職などスタッフで構成する、ノーリフティングケア委員会を中心に取り組みを進めています。毎月委員会で現場の問題などについて協議・改善を図ったり、研修や勉強会・啓蒙活動の計画立案、スタッフへ腰痛アンケートを実施し集計・分析・改善などを行っています。

当院がノーリフティングケアに取り組む目的を定め、みんなが同じ方向に向かい協力して取り組めるようにしています。



現場でノーリフティングケアに取り組んでいる様子

当院がノーリフティングケアに取り組む目的

患者さんは褥瘡・拘縮など二次障害がなく笑顔で過ごせる

スタッフは腰痛がなく心身ともに余裕を持ってやりがいを感じられる

「宇都宮病院で働きたい」と人が集まるような魅力ある職場づくりをする

4. ノーリフティングケアの効果について

患者さんや利用者さんにとっての効果

- ・身体的負担や苦痛が軽減する。 ・精神的負担が軽減する。
 - ・変形拘縮の防止や進行抑制。 ・褥瘡の防止。 ・認知症の防止や進行抑制。
- 人間関係の改善や患者さん利用者さんの笑顔につながる。

介護者にとっての効果

- ・身体的負担が軽減する。 ・精神的負担が軽減する。 ・腰痛の防止。
 - ・業務の効率化 ・介護にかかる時間の短縮。
- 仕事のやりがいや介護に関わる労働者の定着につながる。



お花見の様子



患者さん利用者さんの笑顔のために

ノーリフティングポリシー

No Lifting Policy

1998年にオーストラリア看護連盟ビクトリア支部から出された方針

押す 引く 持ち上げる ねじる 運ぶ

を(過度な負担を伴う状態で)絶対に人力で行わないこと

ノーリフティングポリシーの啓発ポスターより